THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA

なごや ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承　認　1982年　8月24日
例会日　火曜日　12：30
例会場　愛知厚生年金会館
事務局　〒464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4Ｆ　Ｄ号
Tel 763−5110
会　長　加藤大豊

見つけよう　奉仕の新生面
Discover a New World of Service
1984～85年度 RI 会長 カルロス・カンセコ

No. 10

第104回例会　昭和59年9月4日(火) 晴

◇　“君が代”　“奉仕の理想”

◇出席報告

会員　53(54)名　　出席　37名
出席率　70.37％
前　回　8月28日　（修正出席率）　100％

make up
浅井君(8/24港)，古川君(9/3中)，橋本君(8/28大阪南)，堀場君(8/31金沢西)，河合君(8/30東南)，木全君(8/27空港)，小林君(9/1職業奉仕委員長会議)，宮尾君(9/1職業奉仕委員長会議)，水野(質)君(9/1守山)，西川君(8/30瑞穂)，笹野君(9/1守山)，杉山君(8/25守山)，鈴木(正)君(8/27空港)，都築君(8/31港)，手島君(8/30瑞穂)

◇ビジター紹介　3名

◇誕生日祝福

笹野君(7/30)

◇ニコボックス

青山君(過日行われた第26回市民スポーツ祭りで千種区が初優勝し祝勝会が行われました。ちなみに私が監督で出場したバドミントンは準優勝，選手で出場したクレー射撃はクラス別で優勝でした)。平松君(くだらないお話しを聞かせます)。菅原君(奈良団体に副団長として参加します。本日結団式のため早退いたします)，加藤(大)君(一日外務省でアフリカ難民救済募金を安倍外務大臣に直接手渡すところが中京テレビのニュースで放送されました)，職業奉仕委員会(先日の職業奉仕委員長会議へ御協力ありがとうございました)，加藤(敏)君(先日の職業奉仕委員長会議，大変勉強させて頂きました，又本日会員選考委員長としてご無理なお願いをします)，谷口君(先日の職業奉仕委員長会議，ご協力ありがとうございました。今年の年末家族会の計画に関して中京テレビの武内さんよりいろいろお世話になりありがとうございました)。水野(民)君(9月1日の職業奉仕委員長会議で安野ＰＧ，加藤ＰＧ，奥谷Ｇ，より誉められ千種ＲＣの各位に感謝の意をこめて)，笹野君(誕生祝)

◇バナー披露

東京神田ＲＣ・金沢西ＲＣ(堀場君)

◇米山功労者記念品・メダル授与

竹内　真三君　・　菅原　宣彦君

◇谷口幹事報告

1. 第250地区帯広東ＲＣ(59.10/9)の認証状伝達式のご案内が来ております。参加希望の方はお申し出下さい。
2. ロータリーの友9月号が届いておりますのでお持ち帰り下さい。

◇加藤(敏)会員増強委員長報告

会員増強に関しては奥谷ガバナーも力を入れておられますし，当クラブも目標数に達成するため皆様にお願い申しあげます。

第1に従来通り良い会員資格者を幅広い分野から推薦して下さい。第2にお手許に配布したご案内ですが，6つのチームを作成しましたので各チーム1名必ず推薦頂きたいと存じます。第3に全会員に提出して頂きたい用紙として配布致しましたが，ノミネートの立候補という前提のもとに軽い気持ちで会員資格者をご紹介頂きたく思いますのでよろしく御協力をお願いいたします。

◇新美職業奉仕委員長報告

先日の職業奉仕委員長会議には御協力頂きましてありがとうございました。

既にご案内済みですが10月の職業奉仕月間に因み，優良従業員(勤続10年以上)に感謝

状を贈呈する予定でおりますのでよろしくご推薦頂きますようお願いいたします。

◇加藤大豊会長挨拶

昨年のちょうど今頃，フィリピンでのアキノ氏暗殺，大韓航空墜撃事件とあいついで血生臭い事件が起きています。事件は決して偶然なでき事ではなく，御遺族に心より御冥福を祈るものであります。

又先日8月31日当クラブメンバーの皆様の温い御理解をお願いして得ましたアフリカ難民救済募金を安倍外務大臣に名古屋観光ホテルの一日外務省の懇親会の席上で千種ロータリクラブとして直接手渡す事が出来ました。タイミングも良くアピール出来ましたのでこれが民間レベルでの難民救済活動の一つの起爆剤となり輪が拡がれば幸であります。

又先日の9月1日の日に当千種クラブとしては260地区全体の職業奉仕委員長会議のホスト役を創立以来はじめて努めさせて頂きました。奥谷ガバナーを始めとする安野パストガバナー，加藤直一郎地区奉仕委員長，当クラブ水野民也地区小委員長の指導のもとに3時間余りでありましたが，滞りなくホスト役の大任を無事果たす事が出来ました。これもひとえに新美職業奉仕委員長ならびに全メンバー諸兄の御熱意とお力添のお蔭と心から厚く御礼申し上げます。中味のある意義の深い良い会議が出来，私達も大変勉強になりました事は喜びにたえません。四大奉仕のもととなる職業奉仕について少しでも御理解が頂けた事と思いますし今後共より一層勉強して参り度いと存じます。いずれに致しましても当クラブとしては良い経験をする事が出来，千種ＲＣ一歩前進する事が出来たものと確信致します。

◇講演

"私の職歴"

会員　平松　本章　君

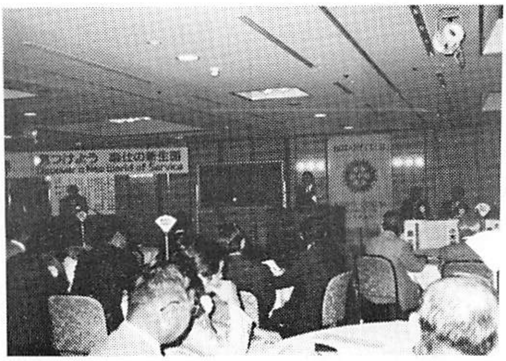
本日は，私が現在まで歩いてきた職歴について自己紹介を兼ね報告したいと思います。

私は昭和45年に学校を卒業，その後14年間不動産業界ひとすじに努力してきました。不動産会社に入った理由を申しますと，第1に当時業界の景気が非常によかった，第2に不動産に興味があった，第3に私自身が一流会社に入れる力がなかったことです。私が勤務した会社は本社が大阪にある大規模開発中心の宅地分譲会社でした。最初に研修のため配属されたのが開発課でした。主な業務は奈良県五条市近郊で約100万坪の買収でした。但し100万坪の内8割位いは村有地や大地主所有地で既に話し合い済でした。しかし用地買収は極めて困難な問題があり，第1に民間事業による開発のため公共事業のように国家権力を使用できないこと，第2により良い代替地を要求されるため買収面積が増えること，第3に買収物件の査定に公平さが常に要求されること，第4に金利負担を考えて，短期間に業務を遂行すること，第5に役所の行政指導に絶対的に従うこと，等々多くありました。

その後，名古屋支店の営業へ配属されました。営業の仕事は用地買収より単純です。しかし当時の販売方法が青田売り中心ですので種々の問題が発生しました。特に傾斜地での宅地造成では客の想像よりも平面部分が少なく苦情が多くありました。又当時上役からこれからの不動産セールスマンは土地の話しをするまでは相手より銀行員と間違えられる様になれと言われたことを記憶しております。

私は，その後義父の経営しているオリエンタルビル㈱に入りました。この会社はビル経営を主としておりますが，その他に屋上遊園地，宅地分譲，不動産仲介を業としております。ビル経営は特別な事情がない限り会社の営業状態が5年位先までほぼ誤差なしに判ります。その代り急成長することもありません。非常に地味な仕事です。以上私の14年間の職歴を述べました。御清聴を感謝します。

〜〜第260地区職業奉仕委員長会議開催〜〜



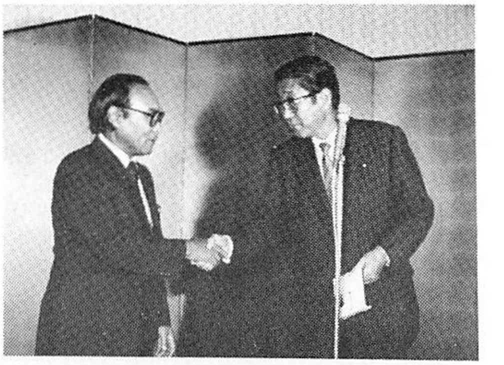
去る9月1日㈯，第260地区職業奉仕委員長会議が当クラブホストで開催されました。

来賓として第260地区奥谷ガバナー，安野パストガバナー，加藤直一郎クラブ奉仕委員長，大宮職業奉仕小委員会委員を迎え，260地区ＲＣの各職業奉仕委員長，又水野㈹職業奉仕小委員会委員長をはじめとする当クラブ会員33名，総勢121名の参加のもとに盛大に行なわれました。

講演として，名古屋保健衛生大学医学部教授の島正吾氏及び名古屋経済大学経済学部教授の小木紀之氏に「労働衛生問題」・「消費者の要望」についてお話し頂き，奉仕の新生面とを大きく採り上げた内容の深い会議として無事に終了いたしました。

先月よりアフリカ難民救済募金運動を進めてきましたが，去る8月31日に開催された一日外務省の懇親会の席上にて皆様の善意が手

渡されました。



～～ 一年間のご協力に心より感謝いたします～～

第260地区　**奥澤直前 ガバナー**

ガバナー月信でご挨拶を申し上げてから早いもので一年余を経過しました。顧みますと昨年7月伝統ある第260地区ガバナーに就任しました時は，どのようにすれば無事一年を過すことが出来るか不安と緊張で一杯でありましたが，幸い地区役員・委員さんをはじめ各クラブの会長・幹事さんまた会員の皆様のご協力によりまして，大過なく役目をはたすことが出来ました。心より感謝申し上げます。

ガバナーの最大の任務である公式訪問は，分区代理さんが事前準備に万全を期せられ。各クラブの会長・幹事さんをはじめ会員の皆様の暖かいご友情により無事スケジュール通り任務を全うすることが出来ました。地区年次大会・地区協議会という重要なる年間行事もホストクラブの皆様の周到なる準備と心のこもった運営により成功裡に終了することが出来ました。またI.G.F.は各分区代理さんに方法はお任せいたしましたが。夫々分区の地域性を生かして時代に適ったテーマを取り上げられ活発な討論会となりました。各クラブに稗益すること大なるものがあったと思っております。更に本年は20数クラブの多数のクラブが創立記念日を迎える年でありました。全クラブの式典に参加して祝福申し上げられなかったことが残念ですが。盛大なる記念式典が挙行され，数々の有意義な記念行事が行なわれたことに対し，あらためて敬意を表するものであります。忘れられないこととしてはスケルトンR.I.会長夫妻の来名でした。お蔭をもちまして名古屋R.C.のホストにて，立派なアジア第三ゾーンのインターシティ・ミーティングとなり面目を施すことが出来ました。地区には夫々重要な委員会があります。本年も立派にその任務を完遂された各委員長・小委員長また委員の皆さまに心よりお礼を申し上げます。

本年度スケルトンR.I.会長は年頭において一人でも多くの有用なる人々にロータリーを分ち与え奉仕の機会を与えるよう，地域・地区は勿論のこと国際的に奉仕するロータリーに力を与えるよう訴えられました。当地区は純増6.6％と会長目標の5％を大きく上廻る成績となりました。各クラブのご理解ご協力に深く感謝申し上げます。また尾張中央・長野北・松本東の各R.C.の誕生はガバナーにとってはこの上ない喜びでありました。3クラブが共に地区内優秀クラブに成長することを心より願って止みません。

本年一年を大過なく過すことの出来たのも，花岡地区幹事，小岩井地区会計長，赤羽・百瀬・西沢副幹事，上島・斉藤事務員の献身的なご協力があったからであります。心から感謝の拍手を送りたいと思っております。

いよいか奥谷年度が始まります。カセンコR.I.会長は極めて格調高いテーマを示されました。しかしこのテーマの実現のためには，クラブをより強力なものにする必要があります。本年度以上のご理解ご協力を賜わりまして，奥谷年度が当260地区において輝かしい年度となりますよう念願して止みません。

この一年間のご協力を衷心より感謝申し上げて退任の挨拶といたします。有難うございました。　　（ガバナースレターより）

'83—'84年度年間出席率・会員増強一覧表

分区	順位 分区	順位 地区	クラブ名	平均出席率	会員数 1983.7.1	会員数 1984.6.30	会員数 増減
尾張第一分区	1	1	名古屋名北	100.00	51	56	＋5
	1	1	名古屋名東	100.00	54	58	＋4
	1	1	名古屋東南	100.00	82	80	－2
	1	1	名古屋和合	100.00	76	84	＋8
	5	10	名古屋北	99.92	96	97	＋1
	6	20	名古屋港	99.64	101	108	＋7
	7	23	名古屋南	99.60	114	119	＋5
	8	26	名古屋瑞穂	99.50	59	63	＋4
	9	27	名古屋中	99.49	92	102	＋10
	10	33	半田南	99.40	42	47	＋5
	11	41	名古屋守山	99.05	79	86	＋7
	12	43	名古屋東	98.92	92	96	＋4
	13	**44**	**名古屋千種**	**98.80**	**46**	**56**	**＋10**
	14	52	常滑	98.26	60	64	＋4
	15	53	名古屋西	98.22	132	148	＋16
	16	57	東海	97.61	49	51	＋2
	17	61	半田	97.37	62	69	＋7
	18	70	名古屋	95.72	207	215	＋8
	19	77	東知多	93.88	47	45	－2

～～～～ 会員増強に思う～～～～

第260地区　**奥谷ガバナー**

公式訪問はガバナーの任務の中で最も大きな仕事の一つであり，各クラブを運営している会長，幹事，役員，委員長各位と膝を交えて語り合い，また会員各位にロータリーの目的やRI会長の方針，本年度の重要課題につ

いて情報を提供できる機会であります。91クラブ6千人を上回る会員を擁する世界最大の地区で，極めて多数のロータリアン諸君と，ロータリーの理念について語り合うことができ，この上もなく幸せと存じます。

日本のロータリーの特徴は，大多数のロータリアンがロータリーを信奉し，しかもその活動状況はまじめで，例会出席率が良く，ロータリー財団への貢献度も高く，また一度設立されたクラブが崩壊した例もありません。しかも，その活動はクラブそれぞれに特徴があり，独自性を持ち，決して均一化されていません。日本のロータリークラブは，一見，国際ロータリー本部が提唱したプログラムを熱心に実行しているように見えても。決して盲従しておらず，きびしい検討を加えた上で信念を以って奉仕しています。長年諸先輩達の努力で培われてきた日本のロータリー活動の在り方を継承し，さらに発展させることが私達の責務であると考えます。

ロータリーを信奉し活動を活発にするためには。初心に帰ってロータリーの原点を探索しなければなりません。ロータリーとはどのようなものかと問われたときの端的な解答は，「われらの生業」のロータリーソングの歌詞によく現われていると思います。またロータリアンは。ロータリー定款に書かれている綱領を受入れ，それを守ることを誓ったものとされ。「知らなかった」として免れることはできません。ロータリアンとしては常に綱領に基づいた行動が要請されています。

ロータリーは。自己のために利益を得ようとする欲望と，他人に奉仕しようとする義務感と，それらに伴う衝動との間に起る相克を和解させようとする哲学であると言われております。また利他精神（自己のためではない，自己の犠牲によって他人を幸福にすること。他人の利益をはかること）によって。経済的目的を遂げようとする実業家によって成立している組織とも言われています。このためには友愛の奉仕の理念を追求し，思いやりと助け合いのもとで，そこに生きがいを持ち，その実践行動としての展開が，ロータリアン個人として，またロータリークラブとして期待されています。

このようにロータリーの奉仕の理念を広め，実践を果たすには，一人でも多くの人々とこの喜びを分かちあうため，新クラブの創立と会員増強によるロータリーの拡大が必要であります。

ロータリークラブを評して世間では，自己の利益のために奉仕する実業人のクラブ，エリート集団の昼食会，何もしない社交クラブなどの認識がありますが，もしもこのようなクラブであるならば，真のロータリアンの参加は求められないと思います。また会員の増強については，会員の増加は質の低下を来たすとの意見もありますが，より大切なことは，将来ロータリーの理念を共に追求し，行動することができる素質のある若い人々を発掘することにあります。

会員増強を進めるに当り，ロータリーに関する地域社会の理解を高めることが重要でありますが，このためには個人として，クラブとして活力のある奉仕活動の実績が前提となります。若者にロータリーの道を開き，老壮青のバランスのとれたクラブを構成し，新しい職業分類の採用，シニア会員の職業分類の充填，アディショナル会員の獲得などに意を払い，クラブとしての行動半径を広げ，活発な奉仕活動の展開を期待申し上げます。

（ガバナースレターより）

⑨月は青少年活動月間

来る9月，1か月間を通じてロータリーは青少年問題に焦点を合わせ，この月間を次の活動を行う特別な機会といたします。各クラブとも只今からその準備に入られるようお願いします。

— 青少年をロータリーの活動に参加させる。
— 特別な催物およびプログラムを通じ青少年を表彰する。
— 青少年のニーズを調査し，新しいプロジェクトに着手する。
— 若い人達に対するロータリーの関心およびプログラムを広報する。

広報活動も主要なポイントで，特別行事やプログラムの広報に加えて，インターアクト，ロータアクト，ＲＹＬＡ，青少年交換学生または財団奨学生のために報道機関による記者会見の手筈を整えたり，地域社会の各グループに対する講演を予定したりするのもその一例です。（ガバナースレターより）

◇会員退会のお知らせ

8月28日付で当会員の鵜飼一男君が退会され理事役員会にて承認されました。

◇会員長期欠席のお知らせ

当会員の加藤正義君が病気療養のため，しばらく長期欠席されます。

◇次回例会（9月 11 日）

分区代理訪問の為，講演はございません。

◇次々回例会（9月18日）

講演 〝グリーン・インテリア時代〟
東山植物園長　坂梨一郎氏（紹介　寺澤君）